

授業科目(ナンバリング)	福祉特論 H (DG311)			担当教員	丸山 貴志・柳 智盛		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業は、人間理解の観点から各発達段階における特徴と課題を理解し、社会福祉分野における権利擁護、スティグマ、虐待などあらゆる視点から福祉に関わる法制度についての理解をさらに高めることをねらいとする。ディプロマポリシーに掲げられる社会に対する理解力、思考力を身に付け、人権思想の発展や社会事情を熟考することで、社会福祉の改革等に主体的に取り組む力を養成する。							①④⑤⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	人間理解のための各発達段階の理解や権利擁護をはじめ社会福祉に関する法律についての基礎を理解できる。また、社会福祉分野において必要となる知識について理解できる。				最終回テスト 最終レポート	30% 30%	
情報収集、分析力	人間理解のための各発達段階の理解や権利擁護を支える法制度など、関連する課題について情報をもとに実践を分析することができる。				授業内課題 課題発表	15% 15%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	人間理解のための各発達段階の理解や権利擁護を支える法制度について理解を深めるため、授業中に協働して取り組む力を獲得する。事例をもとに議論し述べるができる。				授業内課題 課題発表	5% 5%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
最終回テスト(30%)は持ち込み不可の筆記試験とする(問題には、国家試験過去問題も含む予定である)。最終レポート(30%)は設定されたテーマに対してどの程度主体的かつ丁寧に自分自身の意見を述べるかを評価する。さらに、最終レポートを授業の最終回に課題発表(20%)し、担当教員及び他の受講生からのコメントに対して振り返りを求め、最終レポートの評価にも反映させる。授業内課題(20%)は授業終了時にリアクションペーパーを配布し意見を書いてもらい(出欠確認に使うこともある)、必要に応じて、ポートフォリオを活用して提出・フィードバックを行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク活動において、人間の各発達段階の理解と権利擁護を支える法制度との関わりを学ぶ。 ・権利擁護を支える法制度においては、生活保護・高齢者(認知症)・公的扶助に関連する訴訟について学ぶ。 ・精神保健福祉法による人権擁護の制度においては、精神科入院制度・人権・措置入院・保護入院について学ぶ。 ・発達を規定する要因について理解することで子どもの発達を学ぶ。 ・乳幼児期から児童期の子どもの発達に関する諸問題について学ぶ。 <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：谷田貝公昭・林邦雄・成田國英編(2004)『幼児・児童心理学』一藝社</p> <p>指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座 19 権利擁護と成年後見制度 <第4版>」、中央法規、2014年</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ソーシャルワークの実践など社会福祉関連の現場だけでなく、子どもの発達に関する知識や諸問題、それを活用できる能力を身に付けることを期待する。常日頃から社会福祉に関する事件や訴訟について関心を持ちあらゆる障害を持つ人の「人権」について自分の考えを持っておいてほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本授業のねらいおよび評価方法などを知る。また、授業の全体的な内容について理解する。(丸山・柳)	予習:シラバスを読む 復習:配布資料を復習する
2	権利擁護を支える法制度①	生活保護に関連する訴訟について学ぶ。(丸山)	予習:生活保護について調べておく 復習:授業内容を整理する
3	権利擁護を支える法制度②	高齢者(認知症)に関連する訴訟について学ぶ。(丸山)	予習:人権について調べておく 復習:授業内容を整理する
4	権利擁護を支える法制度③	その他、公的扶助に関連する訴訟について学ぶ。(丸山)	予習:公的扶助について調べておく 復習:授業内容を整理する
5	精神保健福祉法に関連する人権擁護の制度①	精神科への入院の制度と人権を守る制度について学ぶ。(丸山)	予習:精神科病院について調べておく 復習:入院制度を整理する
6	精神保健福祉法に関連する人権擁護の制度②	精神科への入院制度の措置入院と医療保護入院について学ぶ。(丸山)	予習:精神科病院について調べておく 復習:入院形態を整理する
7	精神保健福祉法に関連する人権擁護の制度③	精神科への入院の人権と行動制限について学ぶ。(丸山)	予習:精神科病院について調べておく 復習:行動制限をまとめる
8	まとめ① 最終回テスト	・権利擁護と精神保健福祉法についてのまとめ。振り返りを行う。 ・2回～8回の授業内容に関するテストを行う。(丸山)	予習:最終回テストを準備する 復習:授業内容をまとめる
9	発達とは	発達を規定する要因について学ぶ。(柳)	予習:発達の定義を考える 復習:発達を規定する要因を理解する
10	乳幼児期の発達①	乳幼児期の身体運動発達や基本的な生活習慣について学ぶ(柳)	予習:「乳幼児期の発達」について調べておく 復習:基本的な生活習慣の形成を理解する
11	乳幼児期の発達②	乳幼児期の知能発達や言語発達について学ぶ(柳)	予習:「乳幼児期の発達」について調べておく 復習:知能・言語発達を理解する
12	児童期の発達①	児童期の記憶の発達や学習の発達について学ぶ(柳)	予習:「児童期の発達」について調べておく 復習:記憶・学習の発達を理解する
13	児童期の発達②	児童期の人格形成や社会性・道徳性の発達について学ぶ(柳)	予習:「児童期の発達」について調べておく 復習:人格・社会性・道徳性の発達を理解する
14	子どもの発達に関する諸問題	これまでの学修を踏まえて、子どもの発達に関する諸問題についてグループワークを行い受講生同士のディスカッションを通して解決策を考える。(柳)	予習:発達に関する諸問題について調べる 復習:子どもの諸問題に関する解決策を考える
15	まとめ② 最終レポート・課題発表	9回目～14回目までの内容のふりかえり、子どもの発達に関する最終レポートを作成し、課題発表を行う。(柳)	予習:最終レポート・課題発表を準備する 復習:授業内容をまとめる